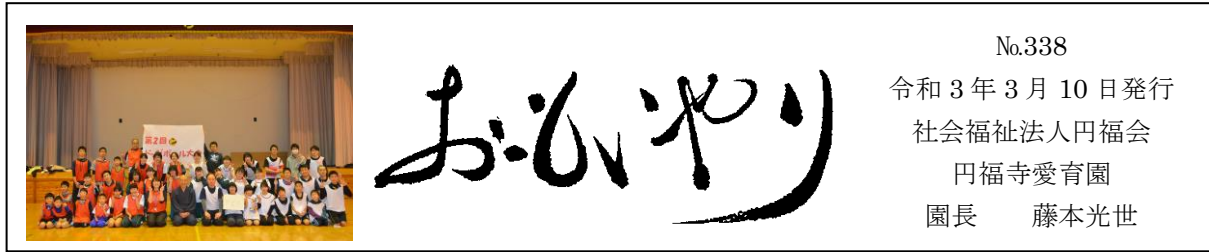


今年もドッジボール大会やりました。紅白分かれ、熱戦でした。結果は白組優勝です。



ドッジボール大会

坂城町の山村町長さまのご配慮をいただき、坂城町体育館でドッジボール大会を開催することができました。冬に、みんなで、体育館でできる運動はないだろうか、色々考えて、昨年からドッジボール大会を始めました。昨年は愛育園の体育館を使用したのですが、狭くて危険なほどでしたので、どこか広い体育館をお借りできないだろうかと探していました。坂城町の体育館が借りられて、ありがたかったです。

子どもたちは、広い体育館で午前中はドッジボール大会、午後は2時間も自由に思いっきり体を動かして遊ぶことができました。私はもっぱら観戦と見守りで、子どもたちや職員の様子を見ていました。みんなとっても嬉しそうでした。職員と一緒に遊ぶことができ、職員と子どもたちとの人間関係も深まったと思います。



体育館では、宿直員や管理員の方に大変なご高配をいただきました。

体育館の暖房は全館にいきわたり、暖かい環境で使用させていただきました。こんなにもしていただけて良いのだろうか、思いました。お昼は、体育館の中でとることができません。職員と子どもたちが北風が強く吹く建物の北側で車座になって準備していました。私はせめて建物の南側で、と探していましたら、宿直員の方が文化ホールのロビーを使っていいよと言ってくださいました。

(令和3年3月10日発行 月刊「円福」486号付録)

建物に入れていただき、寒い北風にあたることもなく昼食を取れて、本当にありがたかったです。お昼の時間も子どもたちは嬉しそうに職員を囲んでいました。

宿直員の方も管理員の方も円福寺愛育園を良くご存知でした。

宿直員の方は、私と同学年の時恵さんを知っていました。小学校の同級生だそうです。通明小学校ですかと聞くと、村上小学校と教えてくれました。円福寺愛育園に来る前に通っていた小学校でしょう。今、どうされていますか？と聞かれたので、上田市で美容師になって立派にされていますとお答えいたしました。

管理員の方は、父を知っていました。屋代高校の同窓会長をされましたね、明徳寺の松本善生ご住職や禅透院様を知っていますよ。そう話されました。円福寺愛育園が地域の皆さまに知っていたいて、はじめて使わせていただいた坂城町体育館でこんなお話ができて、坂城町がすごく身近に感じました。ありがとうございます。

その夜、子どもたちはあつという間に眠ってしまったそうです。職員は筋肉痛の人もいましたよ。心から満足した一日になりました。

坂城町の山村町長さん、皆さん、ありがとうございました。

卒園式

今年の卒園式は、2名の卒園児を送ります。

Yさんは、私がこの仕事に就いた平成20年に、円福幼稚園の年長さんでした。円福幼稚園は毎週月曜日に朝のおまいりがあります。おまいりの最後には園歌を歌い、その指揮を年長さんがします。Yさんの緊張した面持ちの指揮を忘れません。

長距離が速くて、東北信児童養護施設運動会では、マラソンで何度も優勝しました。安曇野の三時間リレーマラソンのアンカーで、泣いて倒れ込むほど頑張りましたね。

卒園後は短大の保育科へ進学します。食事の時などで鼻水を垂らしている幼児さんのそばに駆け寄って、拭いてあげている姿がありました。何かをこぼした時などは素早く台拭きを持って、始末してあげていましたね。子どもたちへのその動きは、良いなあ、立派になったなあと見守りました。高校には、ほぼ皆勤で通いました。進学後の資金を貯めるためにアルバイトを欠かしませんでしたね。よく頑張りました。

入所してから15年。愛育園の変化を体で知っています。そして、今の愛育園の養育も知っています。短大でしっかり勉強して、良い保育士さんになって下さいね。



H君は、中学生の時に愛育園に来ました。愛育園は、勉強しようとする子にとって、最高の環境です。日課がしっかりしていますから、学習習慣の確立ができます。塾も通うことができます。この環境を利用して、よく勉強して成績も伸びました。高校ではハンドボール班に所属して、運動も頑張りました。今年度はコロナの影響で、インターハイ予選が開かれず、本気の姿を見ることができず残念でした。頑張った勉強で、国立大学を受験しました。まだ結果は出ていませんが、きっといい知らせが届くと思います。

一昨年度（平成30年度）まで、愛育園を卒園して進学する子はほとんどいませんでした。私がこの仕事に入った頃は、高校を卒業できる子さえ少なかったのです。（高校を卒業して卒園する子を見て、渡邊理事さんがこれが本当の卒園式だと言ってくれました。）「俺なんかどうなってもいいんだ。」「私なんかどうなってもいいのよ」と、自尊感情が低く、学習に取り組まず、学校へ行っても授業を妨害して、暇を持て余して悪いことをするのが、多くの子どもたちでした。措置児童の自尊感情が低いことが、児童養護施設の高等教育進学率が約30%と低いことにつながっていると思います。それが、自分の将来のために毎日を律して、学習や部活に取り組む子どもたちになりました。

私は、子どもの幸せとは自己実現にあると思います。子どもたちは、自分の可能性に気付いていないのです。二度とない子ども時代、そして青春時代を無為に過ごして、心の赴くままに怠惰に過ごさせて、幸せになれるのでしょうか。子どもたちが自分を思いっきり伸ばせる施設、養育環境、それを作ることが社会的養護の使命と私は考えています。円福寺愛育園が皆様のご支援により、そして職員の努力により、そのような施設になりつつあることを誇りに思っています。

創設のことば
本校に学ぶ者はかけがえのない
自己を尊重し自己を伸ばすため
全力を傾注しなければならぬ
まず自分の中にある自分の知らない
自己を発見するため全力をこめてみる
ことである 自分を発見するための
努力を怠る者は未知の我が
いに素晴らしい我があるか知事に
生きたことになり残念である
この未知の我を求めて全力をこめて
星野書

私が校長をしていた時に、たくさんのご指導をいただいた宮崎西高校の当時の宇田津一郎校長先生に、宮崎西高校の創設の言葉を教えていただきました。この通りだと思います。

宮崎西高校は昭和49年に開校した新設校です。令和2年度の進学実績は国立大学274名（現役

211名、浪人63名）の素晴らしい進学校です。（東京大学は10名）

ドッジボール大会



あおぞらホーム 金井雄大

2月23日、第二回となる愛育園でのドッジボール大会が行われました。今回は、坂城町体育館をお借りして大会が行われました。練習は愛育園の体育館で行っていたので、少し窮屈ではありましたが、子ども達皆頑張って練習してきました。大会当日、体育館に着くとその大きさに子ども達は大喜びでした。大会は紅白に分かれての全5試合でした。赤も白もどちらも一生懸命プレーしており、中でも中高生たちは、勝つために作戦を工夫したり、小学生や女性職員を気遣う姿がありました。試合結果は、赤が1勝、白が3勝、引き分けが1つで今回は白組が優勝となりました。全体の雰囲気として、最後まで腐ることなく全員がプレーできたのは良かったです。

また、係としては、必要なものをそろえるのがギリギリになってしまったり、体育館が予約できなかったりと反省すべき点がいくつかあるので、また次回に、生かしていただけるようにしたいです。

ドッジボール大会

まごころホーム 橋本雅

2月23日に、ドッジボール大会が行われました。練習は2週間と短い期間の中、各チームでパス練習や、キャッチ練習、中当て、試合をして練習を重ねました。みんな一生懸命練習しとても上手になり当日を迎えました。



大会当日、入場行進や開会式をして試合を行いました。計5試合で勝敗を決めました。1試合目まごころ赤 vs まごころ白で戦いました。パスを回しながら当て、キャッチしたり逃げたりしました。練習してきたことが出せた試合でした。結果まごころの白チームが勝ちました。2・3試合目も白チームが勝ちました。4試合目は赤チームが勝ち、5試合目は引き分けでした。試合の結果、赤1勝・1引き分け、白3勝1引き分けで白チームが優勝しました。どちらのチームも練習の成果を発揮し協力しながらプレーできいいドッジボール大会でした。

ドッジボール大会

まごころホーム 中村茉莉歌

2/23に第二回ドッジボール大会がありました。



私は白組で子ども達と一緒に戦いました。チームには1年生の子がいて、最初はボールをキャッチしたり投げたりするのも上手いかず、中当てではボールに背を向けてしまったりしていました。

ですが、練習の中で中高生の子もたちが色々なアドバイスをしたり、分かりやすく紙に動き方を書き出してくれました。その支えや本人の頑張り、練習の成果もあり

大会では相手チームの中学生のボールをキャッチすることができていました。見ていた子たちは「すごい!」「ナイス!」と声を掛けていました。

あおぞら同士の試合はとても迫力があり、球が速すぎて驚きました。混合のチームでは、女の子も男の子も全力で戦いました。誰一人、手を抜かない姿はかっこよく見えました。

選抜メンバーでの試合は、私も選抜に選んでいただきました。選ばれたからには全力で最後までやろう。と思い、女の子3人と外野を頑張りました。結果優勝したのは白組でした。喜んでいる子や、悔しい気持ちでいっぱいの子がいましたが、みんなで良い大会にできたと思います。

ドッジボール大会 児童感想 あおぞら

2月に入ったころに、先生かたが第2回のドッジボール大会があります。と言われて、練習が始まりました。僕は沢山あたってしまいました。それでも、僕は相手を沢山当てたりしました。そして本番では1回も当たりませんでした。そして本番の前日の夜



に、富澤先生から選手せんせいお願いねと言われました。覚えるのは1日だけだったけど、最初から最後まで覚えて、本番には緊張しながら、最初から最後までしっかり言えました。

(4年・S君)

2月23日にドッジボール大会がありました。坂城町の体育館をかりてドッジボール大会をしました。まずはじめに開会式をしました。白か赤がどっちが勝つのか緊張しました。そしてまずはまごころの赤、白で勝負をしていました。くわしくは見れなかったけど、白が勝ちました。つぎは、あおぞらの赤、白で勝負して、1回当たったけどなんとか白が勝ちました。そして、まごころにあおぞらの先生が4人入ってたたかって白が勝ちました。だけどつぎのあおぞらにまごころの先生が4人はいって勝負したら負けてしまいました。つぎの選抜チームであおぞら5人でまごころ3人で、1回目で当てられて、またまごころがあてて、はいて、同点で閉会式で勝負が決まって白が勝ち

(令和3年3月10日発行 月刊「円福」486号付録)

ました。とてもうれしかったです。楽しかったです。

(5年・K君)

2月23日二ドッジボール大会がありました。白組でした。坂城町の体育館でやりました。とても広がったです。まずは開会式をやりました。その後、準備体操をしてからウォーミングアップをして試合がありました。まずはまごころさんでその次があおぞらでその後混合で選抜チームの計5試合やりました。まごころさんは白が勝ってあおぞらも白が勝ちました。数人当てたりキャッチできたりしました。混合チームでは、まごころさんの白が勝ったけどあおぞらの白は負けてしまいました。選抜チームでは惜しくも引き分けでした。結果は白3赤1で勝ちました。その後お昼ご飯を食べて、その後体育館で遊びました。ずっとバスケをしてシュート練したり、1on1をやったり、金井先生とシュート対決したりしました。とても楽しかったです。またやりたいです。



(6年・M君)

2月23日にドッジボール大会がありました。坂城町の町長さんが坂城町の体育館を貸してくれました。体育館に行ってみるととても広くてびっくりしました。ぼくは赤組でした。結果は1勝3敗1分けで負けてしまいましたが全力を出せたのでとても良かったです。それに負けても大会は、とても楽しかったです。お昼ごはんは、おにぎり2つとさけるチーズとバナナです。とてもおいしかったです。お昼ご飯が終わると広い体育館で自由に遊びました。ぼくは、大好きなバスケットボールをしました。広いコートで思いきりできてとても楽しかったです。ぼくは、バスケがもっと上手になったと思います。なれないリングでも、いろいろな角度からたくさんシュートが入ってとても気持ちよかったです。それに2対2でもたくさんのパスやたくさんのシュートを決めれてとてもよかったです。1日、坂城町の体育館をかしてくれてとてもうれしかったです。とても楽しかったです。来年もやりたいです。

(6年・Y君)

ドッジボール大会 児童感想 まごころ

2月23日に、第二回ドッジボール大会がありました。練習する時間はすごく短かったけどその練習を大切にしながら練習しました。

本番、きんちょうしました。練習よりもあたる回数が少なく自分でも良かったなと感じまし

た。5試合中、白組が3勝で赤組が2勝でした。私は白組だったので勝つことができるとてもうれしかったです。お昼を食べた後、時間があつたので自由に遊びました。私はバドミントンをしたりボールを使って遊んだりしました。楽しい時間を過ごすことができました。来年もドッジボール大会を出来たらいいなと思います。



(中1・Mさん)

二月二十三日に、第二回ドッジボール大会が坂城町体育館で行われました。今年は、練習期間が週に3日を3週間くらいでした。私が心に残っていることは2つあります。

一つ目は、練習の時よりも白組の雰囲気が良かったことです。練習のときは、たまにすねてしまう子がいたけど、今日は、みんなで声を出しながらプレーをしていたのでチームの雰囲気がとても良かったので二勝することが出来たんだなと思いました。

二つ目は、選抜のチームに選ばれたことです。お願いされたときは、不安しかありませんでした。理由は、男の子の速いボールをミスなく取れるか不安だったからです。けど、たくさんボールをキャッチすることができました。結果は、六対六で引き分けでした。とてもいい試合でした。

最後に、表彰式がありました。白組が、三勝一敗一引き分けで優勝することができました。みんなで、練習から頑張ってきて良かったです。

(中2・Sさん)

昨日、体育館を特別に借りて、ドッジボール大会を行いました。昨年、初めてやったドッジボール大会に比べて試合が多く、より盛り上がりました。

まず最初の試合では、まごころの赤組と白組でゲームを行います。私は赤組でした。正直練習はどちらも同じくらい勝っていたのでどちらが勝つとは予想できませんでした。けれど、「赤組は絶対勝つ」と意気込みジャンプボールをしました。結果は、白組が勝ったけど、楽しい試合になりました。

次はあおぞらの赤組と白組の試合です。変化球やら強い球は見てて怖かったです。その後は、職員との混合チームで試合をやったり、選抜メンバーでの試合をやったり、目が離せない試合ばかりでした。

試合では、励ましたり前向きな言葉をかける姿にこういうのが園の子たちの良いところだなと思いました。こういう行動が、負けても「良いゲームだった」と思うことに繋がるのかなと思います。

ゲームが終わり、その後は、体育館で遊びました。最初はまごころの子と先生でキャッチボール



をしましたが、途中であおぞらの先生や他の子どもも混ざって当てっこゲームをしました。やっていくと、私が速い球を投げられて成長したなと感じました。

来年は忙しいとは思いますがドッジボール大会がまたできればやりたいです。

(高2・Aさん)

ホーム食 あおぞらホーム お好み焼き作り

あおぞらホーム 山田忍



2月11日、あおぞらホーム、まごころホームでそれぞれホーム食作りをしました。

あおぞらホームでは今回お好み焼きとたこ焼きを作りました。最初の計画ではもんじゃ焼きも作る予定でしたが作れずじまいになってしまいました、何日か前から材料や道具の準備をし、前日の夕方には中高生達と食材の買い出しに行きました、みんなで買い物をするという事はあまりない為、買い物一つにとってもみんなとても楽しそうでしたし買い物中もみんなマナーよく、見つけられない材料を店員さんに積極的に聞きに行ってくれたり、大人は普段何気なくしている買い物も子ども達にとっては良い経験になるんだな、とつくづく思いました。自分自身の準備としては今までもんじゃ焼きを食べたことも作ったこともなかったため休みの日に近所のお好み焼き屋さんへ行って実際にもんじゃ焼きとはどんなものなのか作って食べてきました。本番当日はお好み焼きをひっくり返すドキドキをみんなで楽しみながらおいしく作ることができ満足のいくホーム食になりました。

ホーム食 まごころホーム うどん作り

まごころホーム 加藤ゆかり



2月11日(木)にホーム食を行いました。まごころホームは、手打ちうどん、サラダ、フルーツサンドを作りました。手打ちうどんは、4つのグループに分かれてこねたり、踏んだり、切ったりして、楽しく作りました。うどんのつゆも、明太クリーム、玉子あんかけ、豚キムチ、牛すき風など、まるでお店のような品揃えでした！サラダのドレッシングも手作りし、作る品数はとても多かったのですが、みんな張り切っており、協力

してテキパキと作ることが出来ました。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

いざ、食べ始めると、みんな「美味しい！」と言って目を輝かせていました。普段の食事ではなかなか食べられないメニューなので、とても嬉しそうでした。特に手打ちうどんは、コシがあり、いろんな長さや太さのうどんがありました。全てひっくるめて「みんなで作る食事はいいなあ」と改めて感じました。お腹も心も満たされた楽しいホーム食でした。

ホーム食 児童感想 あおぞら



2月11日にホーム食がありました。まずお好み焼きを作りました。色々な材料を使ってお好み焼きを作りました。僕は、キャベツを二個包丁で切りました。とてもうまくできました。そして上手く混ぜて、自分の好きな量にして大きくできました。そして3分ぐらい待って、裏返してまた3分ぐらい待ったら、お好み焼きがとてもうまく出来ました。自分で作って美味しかったです。次は、たこ焼きを作りました。丸い形の鉄板でたこ焼きを作りました。くしで刺してひっくり返して丸い形のたこ焼きが出来ました。たこ焼きは10個ぐらい食べました。おいしかったです。そしてデザートで、トーストパンを作りました。パンの上にイチゴ大福とチーズをのせて、とても美味しかったです。またやりたいです。

(小5・K君)

ホーム食でお好み焼きとたこ焼きを作りました。最初はキャベツの千切りです。とても上手に千切りが出来て良かったです。キャベツを水で洗って、まだ焼いていない生地の中に、キャベツとシーフードを入れました。鉄板に生地を入れて焼いて、その上に豚肉をのせて、食べました。すごく美味しかったです。少し量が多かったです。それでもおかわりをしました。次にたこ焼きです。タコを焼くと少ししょっぱかったです。おいしかったです。その後に、焼いたトーストの上に雪見大福とスライスチーズをのせたパンを食べました。チーズはとろけて、雪見大福の中は冷たくて、美味しかったです。また食べたいなと思いました。僕の雪見大福はイチゴ大福でした。すごく美味しかったです。とても楽しいホーム食でした。また今度のホーム食は何を作るのかすごく楽しみです。

(小6・Y君)

2月11日にホーム食がありました。僕はお好み焼きで皆は上手くひっくり返せていたけど、自分出来るか自信がありませんでした。けれどやってみると、とても簡単でした。とっても美味しかったし、上手に作れて良かったです。次にたこ焼きを食べました。僕はタコを切りました。タコ焼

(令和3年3月10日発行 月刊「円福」486号付録)

きをたくさん食べて、最後には生地が無くなり、タコだけ焼いて食べました。とても美味しかったです。デザートは雪見大福トーストでした。トースターでパンを焼いて、その上に雪見大福やチーズをのせて食べました。とっても美味しかったです。

ホーム食 児童感想 まごころ

ホーム食をやりました。はじめて手づくりうどんを作りました。こんなに水を入れて手でこねて足でふんで作りました。とてもおいしかったです。たまごのつゆがおいしかったです。またホーム食をしたいと思います。

(小1・Yくん)



今日は、ホーム食がありました。ホーム食で作ったのは、手打ちうどんとフルーツサンド、サラダ、うどんにつけるつゆを作りました。私が作ったのは、フルーツサンドです。思っているよりも難しく、うまく作れるか分からなかったけど、グループで協力しておいしいフルーツサンドができました。とても楽しかったです。

みんなで協力してできあがったうどん、サラダ、フルーツサンドを食べました。うどんは中高生たちがつゆを5種類作ってくれました。うどんにかけてみたら、とてもおいしかったです。サラダでは、手作りのドレッシングを2種類作ってくれました。私がかけたのは、サイゼリヤのドレッシングです。とてもサラダに合い、おかわりもしました。次に、フルーツサンドを食べました。パンにフルーツがしっかりとのっているか心配だったけど、半分に切って見たらとてもすごかったです。またつくってみたいと思いました。

(小6・Tさん)

2月11日にホーム食がありました。手打ちうどんを作りました。うどんを袋に入れて、足でふむのがとても楽しかったです。すごくやわらかかったです。うどんを切る時は、太さが変わってしまったり、全然切れなかったりした時があったので難しかったです。打ち粉が少なかったときは、うどんが全然ばらけなくて1本1本はがしていましたが、打ち粉をたくさん使うと、すぐにほぐれたのでうどんを作る時は、打ち粉が大切なんだと知ることが出来ました。みんなで、とても美味しく作ることができました。

(中1・Uさん)

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

2月11日にホーム食がありました。今回は、『手作りうどん』と『手作りドレッシング&サラダ』『フルーツサンド』を作りました。うどんは、足で踏んだので、こしがよくでていました。そして今回は、うどんにかけるつゆも全て手作りしました。私は、『明太子クリーム』をずっとやりたくて、今回、かけるものの一つとしてもらいました。とても美味しかったです。また、ホーム食をやりたいです。

(中2・Sさん)

あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

コロナとの暮らしも、もうすぐで1年経とうとしています。色々大変な1年ではありましたが、あおぞらホームの子は今月も元気に過ごしています。小学生の方では、今年度最後の授業参観が学習発表会という形で、行われました。例年ですと一斉開催で、各教室で行われますが、今回はそれぞれの学年が日付をずらし、体育館で発表が行われました。今年度は発表の場がとても限られていたので、子どもも職員も楽しみにしていました。各クラスとても個性的で、ダンスをしたり、社会の発表を行ったり、オリジナルの劇を行ったりしました。6年生はお家の方へ感謝の言葉を述べる機会があり、愛育園へ感謝を述べ、とても立派に発表したとのことでした。小1のY君も堂々と発表していたり、成長を感じられる最後の学習発表会でした。

そして、今年受験生が2人。高校3年生のH君は国立大の前期試験を終えました。色んなプレッシャーの中、共通テストで結果を残したことで、前期試験を受験した事、本当に頑張ってきたと思います。ここからはもう1ヶ月も経たないうちに園から卒業し、1人生活を送らないといけませんので、しっかり準備をし、少しでも自立へ向けて不安が残らないよう、過ごしていければと思います。

もう1人、これから高校受験を控えるH君。勉強時間だけ見れば、不満を言うことも少なく黙々と取り組んできたと思います。あとはどれだけ自分がその高校に行きたいのか、今まであまり自分の意思を強く表明してきていない感じではありますが、志望校への強い気持ちを持って、受験を乗り越えていければと思います。もうすぐ2人ともどのような結果になっているのかわかり、とても楽しみです。努力や感謝を忘れず、道を切り開いていって欲しいです。

まごころホームだより

まごころホーム 竹内早季

今年度も残すところあと1か月になりました。先日園内のドッジボール大会も行われ、チームごとと団結してとてもいい雰囲気でした。そんな中、少しずつ園内にも卒園式の話が出始めています。まごころホームには今年度卒園生が1名います。無事進学先も決まり、今はバイトと自動車教習に励んでいます。みんなで温かく送り出せるように準備を進めていきたいと思っています。

(令和3年3月10日発行 月刊「円福」486号付録)

また、高校受験も順調に進んでおり、まごころでも2名の受験生が進路のために頑張っています。プレッシャーも感じているようですが、学習も最後までよく頑張っています。進級、進学についてよく子どもたちと話をします。不安や緊張はあるようですが、「部活何にしようかな」「クラスに仲のいい友達がいるといいな」などわくわくした気持ちも伝わってきます。新品の制服を試着して照れくさそうにしているところを見て、成長をすごく感じる事ができました。節目の時期なので、新年度からいいスタートが切れるように見守っていきたいと思います。

調理室だより

三寒四温を繰り返し少しずつ春の気配が近づいてきています。そして今年度は124年ぶりに2日が節分となり出番を間違えた鬼もいたのかなと思います。

愛育園ではしっかりと2日に南南東を向いて恵方巻きを頂きました。

14日にはバレンタインのお菓子作りに可愛いパティシエ達がそれぞれのレシピを持って食堂に集まり、渡すお友達や先生の事を思い、一生懸命作っていました。どれも素晴らしい出来栄に感心します。

2月は4名の子供達のお誕生日がありました。

1日：味噌ラーメン、餃子、スペシャルパフェ

3日：スタミナ丼、カリカリポテト、海藻サラダ、ヨーグルトケーキ

21日：豚骨ラーメン、フライドチキン、さけチーサラダ、抹茶ケーキ

25日：たらこスパゲッティ、ヤンニョムチキン、海藻サラダ、ティラミス

25日に18歳のお誕生日を迎えたYさんは最後の誕生日メニューとなりました。

愛育園の食事で健康に大きく成長してくれた事を嬉しく思います。

調理員 大下はる江

